

なかま

初春は 風と晴天 こたつかな
舌凍え 音も凍りて 帰還せり

今後の行事予定

1月5日 12日 書き初め
(5日 P, JASL, 高 12日小2~6, 中)
1月19日 書き初め展示会
1月12日 Pコース、高等部説明会

去年今年の思い出

2013年はオバマ大統領が2期目を出発し、国民皆保険制度が2014年1月から実施されることになりました。

日本は2012年12月に衆議院選挙が2013年6月に参議院選挙が行われ自公の安定政権ができました。

今年は、日本政府の借金が1千兆円を越し、「あまちゃん」がブレイクし、2020年のオリンピック東京開催も決まりました。

昨年10月末にはハリケーンサンディがNJ州を襲い大きな被害が出ました。今年は台風30号がフィリピンを襲い約6000人が死亡しました。台風は地震と違って予測がつくはずなのにそんなに多くの死者が出たのは、明らかに想定外だったということ物語っていて、その規模の大きさに驚きます。いずれも地球温暖化の中で例年とは違う形を取り、それが今後も起こる可能性を予感させました。

地球上の生物が運命を共にしていることを実感させる一年でした。

2013年度第13回東和エッセイコンテスト(今年の題は「日本のカタカナ言葉について」)受賞おめでとうございます。

講談社 USA 賞 ビーチ海連「カタカナのもう一つの顔」
日米協会フレンドシップ賞 武笠みのり「カタカナの実態」

先生を募集しています！
関心のある方は是非ご応募ください。

プリンストン日本語学校新聞



平成25年度 No.31号

平成25年12月22日

文責 長尾重範 nagao@pcjls.org

平成25年度表現学習発表会優秀賞作品

「一生心に残る夏の思い出」 荒川エミリー

2011年3月、東北地方に大惨劇が起きました。日本には私のもうひとつの国なので、私は深く悲しみ、何ができるか考えました。まず、学校で先生や友達にこの悲劇を理解してもらうために、情報を集め、授業で発表し、募金活動を始めました。すぐにでも現地にボランティアに行きたいと頼みましたが、中学生では無理でした。

でも遂に今年の夏に私の願いが叶い、NGO 法人と一緒に二つの活動に参加しました。一つは陸前高田市の商店の復興を手伝う事、二つ目は岩手、宮城、福島の子供館で子供達に色んな国の遊びを教える事です。初日一関駅に着いた時、皆日本語で話していたので私はかなり不安になりましたが、英語に興味がある人と友達になる事ができました。私達は陸前高田市を周り、地震と津波の影響を目の当たりにして被害の大きさを実感しました。3階の記念碑は2階から上は何もなく、鉄道と橋も津波で流れてしまっていました。私達は新店舗を建てたばかりの五つの地元企業の復興を手伝うために、その店の人気商品のPRを作成しオンライン販売できるようにしました。私は写真を撮ってPRを英語に翻訳し、世界各地に支店を持つ銀行に売り込みました。児童館の活動では、ブラジル、中国やイギリスを含む各国のボランティアが世界の遊びを子供達に教えて、私はアメリカの Hokey Pokey の踊りと Itsy Bitsy Spider の歌を教えました。そこで暮らしているのは、皆震災で両親を失った子供達ばかりです。それなのにとても笑顔が可愛くて楽しそうに遊んでいました。3月11日のことをまるで忘れてしまったかのような明るさでした。私はその子供たちのサバイバルストーリーを敢えて聞きませんでした。その苦しい記憶を思い出させるのはとてもつらいことだと思ったからです。深い傷を負ってそれでも幸せそうに遊ぶ子供達の姿に私は心を打たれ、泣いていた私の方が子供達によって勇気付けられました。

私はこの体験を通して同じ志の友達が世界中にできました。そしてなによりも、子供達のけなげな姿を見て、その「前へ進め」の態度が私にとって、最も貴重な宝物になりました。